



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山下 晴央

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 企画財務部長 (氏名) 大野 裕哉

TEL 053-447-2111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,314	6.5	655	96.3	577	113.0	504	133.0
2019年3月期第1四半期	6,755	62.8	333		271		216	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 601百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 27百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	79.93	
2019年3月期第1四半期	34.30	

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,593	9,143	29.9
2019年3月期	34,995	8,605	24.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,143百万円 2019年3月期 8,605百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 15円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	0.8	2,100	19.2	1,700	25.0	1,300	19.6	206.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,353,454 株	2019年3月期	6,353,454 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	46,874 株	2019年3月期	46,874 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,306,580 株	2019年3月期1Q	6,307,274 株

(注)当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、工作機械関連事業部門、輸送機器関連事業部門共に減少したことにより6,314百万円（前年同期比6.5%減）となりました。損益につきましては、営業利益は655百万円（前年同期比96.3%増）となり、経常利益は577百万円（前年同期比113.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は504百万円（前年同期比133.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、アジアや国内を中心に売上を伸ばしたものの、北米・欧州の売上が伸びず、売上高は3,828百万円（前年同期比8.3%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、技術面での原価低減の徹底や、製造面での効率アップ等の施策を案件毎に行ったことにより659百万円（前年同期比337.2%増）と大幅な増益となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、国内、海外共に減少したことにより、売上高は2,467百万円（前年同期比3.7%減）となりました。セグメント損失（営業損失）は、固定費削減や生産性向上活動に努めたものの、経費負担が重く17百万円（前年同期は営業利益170百万円）となりました。

その他部門におきましては、不動産賃貸業により売上高は17百万円（前年同期と同額）となり、セグメント利益（営業利益）は12百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,401百万円減少し、30,593百万円となりました。この主な要因は現金及び預金が2,606百万円、受取手形及び売掛金が2,054百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,939百万円減少し、21,450百万円となりました。この主な要因は短期借入金金が3,764百万円、未払金が725百万円、未払法人税等が425百万円、長期借入金が400百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ538百万円増加し、9,143百万円となりました。この主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益504百万円を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は29.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、最近の受注動向を鑑み、通期の売上高を32,000百万円（前年同期比4.1%増）から30,500百万円（前年同期比0.8%減）に修正致しました。なお、各段階利益に関する予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,385	1,779
受取手形及び売掛金	6,145	4,090
電子記録債権	1,173	978
商品及び製品	2,354	2,452
仕掛品	4,828	5,303
原材料及び貯蔵品	1,625	1,681
その他	602	341
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	21,104	16,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,710	2,681
機械装置及び運搬具（純額）	2,901	2,831
土地	7,387	7,387
その他（純額）	379	703
有形固定資産合計	13,378	13,603
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	115	137
無形固定資産合計	118	139
投資その他の資産		
その他	397	233
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	394	231
固定資産合計	13,891	13,973
資産合計	34,995	30,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,616	2,603
電子記録債務	1,715	1,636
短期借入金	6,479	2,715
未払法人税等	508	83
賞与引当金	461	691
その他	3,617	3,058
流動負債合計	15,398	10,787
固定負債		
長期借入金	5,600	5,200
退職給付に係る負債	3,483	3,437
役員退職慰労引当金	15	15
資産除去債務	114	114
その他	1,777	1,894
固定負債合計	10,991	10,662
負債合計	26,390	21,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
利益剰余金	1,065	1,506
自己株式	△68	△68
株主資本合計	5,637	6,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
土地再評価差額金	3,666	3,666
為替換算調整勘定	223	300
退職給付に係る調整累計額	△923	△903
その他の包括利益累計額合計	2,967	3,065
純資産合計	8,605	9,143
負債純資産合計	34,995	30,593

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,755	6,314
売上原価	5,818	4,970
売上総利益	936	1,344
販売費及び一般管理費	602	688
営業利益	333	655
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	0	0
受取クレーム補償金	4	1
その他	11	14
営業外収益合計	20	20
営業外費用		
支払利息	58	45
為替差損	17	45
その他	6	7
営業外費用合計	83	98
経常利益	271	577
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	271	577
法人税、住民税及び事業税	49	60
法人税等調整額	5	12
法人税等合計	54	73
四半期純利益	216	504
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	216	504

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	216	504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△260	77
退職給付に係る調整額	17	20
その他の包括利益合計	△244	97
四半期包括利益	△27	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27	601
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また、これにあわせて、従来、投資その他の資産の「その他」(長期前払費用)に計上していた土地賃借料を有形固定資産の「その他」(使用権資産)に計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が264百万円増加、投資その他の資産の「その他」が173百万円減少、流動負債の「その他」が23百万円増加、固定負債の「その他」が67百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は0百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,175	2,561	6,737	17	6,755	—	6,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	—	4	△4	—
計	4,180	2,561	6,741	17	6,759	△4	6,755
セグメント利益	150	170	321	12	333	—	333

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,828	2,467	6,296	17	6,314	—	6,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	5	—	5	△5	—
計	3,833	2,467	6,301	17	6,759	△5	6,314
セグメント利益又は損失(△)	659	△17	642	12	655	—	655

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。